

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成31年2月13日)

項目

ページ

- 3 全国に感染拡大する「豚コレラ」への本県の対応状況について
【畜産課】 1



全国に感染拡大する「豚コレラ」への本県の対応状況について

平成31年2月13日
畜産課

平成30年9月9日に岐阜市の養豚農場において豚コレラが発生し、平成31年2月6日までに岐阜県内7カ所、愛知県内1カ所の養豚農場等で豚コレラが発生しました。このうち愛知県内の発生養豚農場とその関連1農場、発生養豚農場から子豚を導入した県外4養豚農場ではいずれも豚コレラの疑似患者確定により2月10日までに殺処分が行われました。

豚コレラが全国に感染拡大している現状を踏まえ、本県においては過去1年以内に県外から子豚導入実績のある9農場について、念のため豚コレラ遺伝子検査を行ったところ（2月8日（金）から90頭の血液採取を実施）、全頭について陰性を確認しました（豚コレラへの感染は認められませんでした）。

引き続き「豚コレラ緊急防疫対策事業」（予備費15,954千円）を活用しながら、県内養豚農場での防疫体制強化支援と家畜保健衛生所の検査能力向上を図っていきます。

記

1 豚コレラの発生状況

(1) 養豚農場等における豚コレラ発生状況

区分	発生日	発生養豚農場等	飼養頭数	防疫措置終了
1～6例目	平成30年9月9日～ 平成30年12月25日	岐阜県養豚農場等	8,996頭	平成30年12月28日
7例目	平成31年1月29日	岐阜県各務原市	1,662頭	平成31年1月31日
疫学関連農場	平成31年1月30日	岐阜県本巣市	867頭	平成31年2月1日
8例目	平成31年2月6日	愛知県豊田市	6,640頭	2月7日殺処分終了

※8例目の疫学関連農場5戸（愛知県田原市、岐阜県恵那市、滋賀県近江八幡市、長野県宮田村、大阪府東大阪市）の約9,400頭については、現在、防疫措置等対応中。

(2) 野生イノシシにおける豚コレラ確認状況（確認は岐阜県及び愛知県のみ）

・岐阜県130頭陽性（平成31年2月8日現在）、愛知県10頭陽性（2月3日現在）。

2 本県の対応状況

これまで県関係機関を招集した豚コレラ対応庁内連絡会議を6回開催し、豚コレラへの対応を確認、関係機関等に情報提供を行った。また予備費を活用しながら、県下養豚農場の防疫体制を強化していく。

(1) 養豚関係

- ・県内全養豚農場（28戸（飼育イノシシ農場含む））に対し、巡回指導、情報提供及び注意喚起を行い、全養豚農場で異常がないことを確認、また発生県農場からの豚の導入、同一会社から飼料購入実績のある農場はないことを確認した。
- ・全養豚農場に消毒薬を配布し、消毒を強化した。
- ・農協、飼料会社等県内関係機関には畜産課から情報提供と注意喚起を実施した。
- ・2月8日（金）から9農場の90頭から血液採取して豚コレラ遺伝子検査を行い、全頭陰性を確認した（豚コレラへの感染は認められなかった）。

(2) 野生イノシシ関係

- ・鳥取県猟友会及び市町村の協力を得て、平成31年2月6日までに野生イノシシ86頭について検査を実施し、全頭陰性を確認している。
- ・県猟友会及び野生イノシシを扱うジビエ処理施設には畜産課から情報提供を実施した。

3 今後の予定

- ・県内全養豚農場への豚コレラ対策を含めた衛生指導を継続する。
- ・県外から導入される豚に対する健康状態の確認を強化する。
- ・野生イノシシの検査体制を維持、強化していく。

<県民の皆様への注意事項>

豚コレラは豚及びイノシシのみが感染するウイルス性の疾病で、人が感染することはありません。豚コレラウイルスに感染した豚肉が市場に流通することはありません。

